



地域活動団体の組織づくり講座

区では、地域活動団体向けの講座を年3回オンラインで開催しています。

今年度の1回目は初の試みとして、対面によるセミナーを令和7年7月1日(火)きゅりあんで開催しました。

「地域課題を解決するNPOの組織づくり講座」として、NPO団体だけでなく、これから活動を始めようと考えている方にも向けた講座として募集し、区内の地域貢献に関わる団体や個人で活動をしている方など、計12名が参加しました。

NPO法人NPOサポートセンター代表理事 松本祐一氏を講師に迎え、「団体の“今”をとらえて、モデルチェンジに向けた基盤をつくろう」をテーマとして講義と事例紹介を行いました。

講義後のグループワークでは、地域課題の変化から「活動の対象となる人」を捉えなおし、団体のビジョンや強み、課題解決に必要なリソースを再整理して、グループ同士で共有を行いました。

講座後は、参加者同士の交流により、活動している人だけでなく、これから活動を始めようとする人にも活動の再確認や見直し、今後に向けた活動の広がりが期待できる講座となりました。

今後の講座の開催情報は
しながわすまいるネットをチェック



地域に密着した交流の場

NPO法人みんなの食育が区との協働で運営する「元気食堂 うさぎ」

「元気食堂 うさぎ」は、地域密着型のコミュニティ食堂です。インターネットの普及で、仕事のリモートワーク化やフードデリバリーサービスが増え、人と顔を合わせる機会が減少する中、食堂は食を通じて人と人をつなぎ、地域交流の拠点となっています。



大きな窓から日差しが差し込み、開放的な店内。

食堂では、運営者が人と人をつなぐハブとなり、居合わせた人同士で自然と会話が生まれたり、偶然知人同士が再会し近況報告をしようなど、コミュニティを育む場になっています。食事をしながらおしゃべりを楽しむ人など、さまざまな様子が見られます。

提供される手作りの食事は、素材の持ち味を活かし、どれも彩り豊かで美味!デザートやドリンクメニューもあるので、ランチはもちろんカフェとしてもご利用いただけます。

毎月、第2・4金曜日の夜に営業する「元気居酒屋 黒うさぎ」では、食事メニューのほかアルコールの提供もあり、家族連れや仕事帰りの方、高齢の方まで幅広い層の方でにぎわっています。



プレートランチ。日替わりの主菜は、お肉とお魚から選べます。



野菜たっぷりヘルシーカレー。



夜の営業も世代を超えて賑わいます。



夜限定の「黒うさぎセット」はおつまみとお好きなドリンク1杯が選べます。

元気食堂 うさぎ
午前10時～午後5時
※定休 火曜日、第2火曜日の翌日

元気居酒屋 黒うさぎ
毎月第2・4金曜日
午後5時30分～8時30分

お弁当の
テイクアウトも
できます。

地域のぬくもりが感じられる食堂で、
あなたもほっと一息つきませんか

ホームページ、
Instagramも
ご確認ください



HP



Instagram

NPO法人みんなの食育のご紹介

食育の啓発活動および調査研究、食育指導者の育成、食育活動団体への支援などを実施し、地域活動および学校教育における食育活動を推進しています。また、消費者の声を地域や行政に伝え、暮らしの課題解決に貢献することを目的として活動しています。

令和7年度 区民活動助成採択団体による成果報告会

各団体からの実績や今後に向けての発表に対し、地域振興基金活用推進会議の審査員の方々と、採択事業に伴走したNPO法人NPOサポートセンターが講評やフィードバックを行うという形で進行しました。終了後も、区職員や区民など、聴講に来ていた方々を含めて盛んな交流が行われました。

[令和8年2月13日(金)午前10時～正午 きゅりあん6階 大会議室]



採択事業の概要は
しながわすまいるネットを
チェック



NPO法人NPOサポートセンターからの講評

昨年にも増して、活動の力強さを感じる発表でした。各団体がそれぞれのテーマにおいて地域のニーズを的確に捉え、先進的に活動を進めていることに加え、他団体や他地域と連携しながら、活動が継続的に広がっていく「仕組み化」を意識して取り組まれている様子がうかがえました。

申請時の相談に対応する中で、今後、区内で新たに活動を展開していく団体の発掘や立ち上げを支援していくことの重要性を感じています。採択団体の皆さんの取り組みを広く発信する機会を設け、潜在的な活動の掘り起こしにもつなげていきたいと考えていますので、今後ともご協力をお願いいたします。(特定非営利活動法人NPOサポートセンター)

※NPO法人NPOサポートセンターは品川区から地域活動に関する相談支援事業を受託しています。
下記連絡先にお気軽にお問い合わせください。

品川区地域活動課協働推進係 TEL:5742-6693 FAX:5742-6878 Mail:chikikat-kyodo@city.shinagawa.tokyo.jp



助成期間のそのあとは？

区民活動助成の期間を終えた団体に、それからのお話を伺いました。



NPO法人 アレルギーの正しい理解をサポートするみんなの会 理事長 前田 えりさん

助成事業：しながわアレルギーネットワーク(令和4～6年)

適切なアレルギー情報を共有できるネットワークを作り、アレルギー患者のQOL(生活の質)の向上に寄与することを目的とした事業

助成以前と変わったこと

区内イベントで事業のPR活動を行う際に、以前よりも多くの方に興味を持っていただけるようになりました。また助成金採択のうしろだてもあり、外食関連の企業や団体の方々と関わりやすくなって新たな交流が生まれました。

助成金事業を経て

食物アレルギーがある方への発信に引き続き力を入れていきます。特に、食品のアレルギー表示基準の変化に対応した啓発活動や外食および中食なかしゆく※利用時の注意点の発信に取り組んでいます。
※中食：対面販売の惣菜やデリバリーなど、家庭外で商業的に調理・加工されたものを購入して食べる形態の食事のこと。

助成以後の協働について

地域の団体として、当団体のオンライン配信に助成期間中より協力してくださった『モノづくり×プログラミング for Shinagawa』さんに引き続き運営協力をいただいています。そのほか、他のアレルギー啓発団体、行政機関、食品メーカー、外食・中食事業者、等から多くの問い合わせがあり、意見交換にも取り組んでいます。

助成金採択がきっかけとなり、他の団体や企業とつながる機会が増え、今後も協働の輪が広がっていくと感じています。

アレルギーの正しい理解をサポートする
みんなの会のホームページ、
しながわアレルギーねっともご確認ください



HP



しながわアレルギーねっと



<https://shinagawa-allergy.a-minna.org>